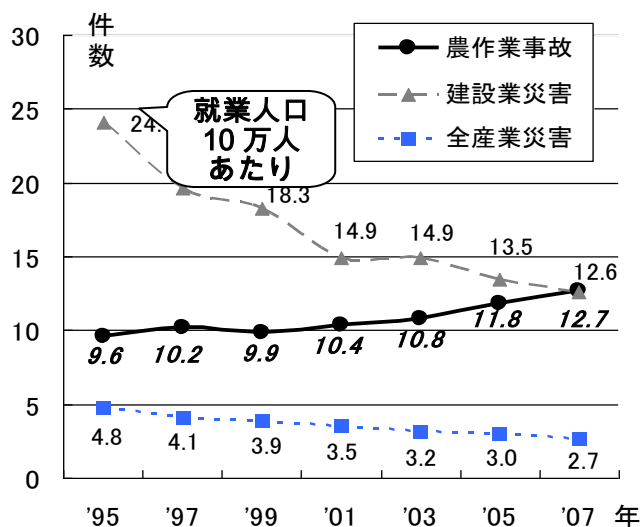


農作業事故の現状と事故防止について



1. 「農業は危険な産業である」という認識

全産業の4倍以上の死亡事故発生率
(交通事故死の2倍)

→他の産業より立ち遅れている
今まで最も危険な産業だった
建設業の死亡事故発生率を
農作業が追いつきに追い越した

そして、もう一つ

悲しいお知らせ・・・

H20年(全国ワースト1位)

熊本県23件 / 全国374件中

→ なぜこうなるのか?

① 農業ではまったく安全にお金と時間をかけていない

「安全は基本的にタダ」「ばれなきゃ良いという考え方」が日本の農業にある

② 世の中に安全な機械というものは存在しない・・・正しい服装・姿勢・操作手順で

③ 事故の大きさは機械の大きさと比例しない・・・小型農機ほど危険

2. 事故の原因の8割は、ヒューマンエラー(人的ミス)

不安全行動→ほとんどは、作業手順を省略した“手抜き”行動による

- ①知識不足、②意欲欠如、③過労、④身体的能力不足、⑤悩みごと、
⑥誤った判断、⑦確認不備、⑧指示不明確、⑨朝食抜き

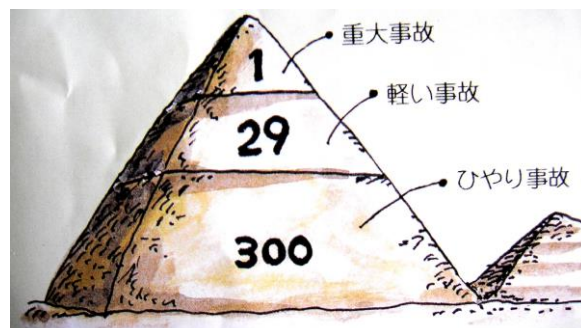
3. 事故は起こるべくして起こっている(確率の話)

ハインリッヒの法則

しかも、ヒヤリハット体験の

1 / 3が死亡事故に直結

→危険の芽をつみ取る方法は?



ヒヤリハットを減らすことしかない

仕事、生活、レジャーなどあらゆる場面に
リスクへの感受性を持つこと 予知力

4 . 事故の原因にはパターンがある

傾向が同じなら、対策は必ずある (死亡事故を防げたかもしれない)

機種別 : 乗用トラクタ・歩行トラクタ・農用運搬車・コンバイン・刈払機で 8割以上

5 . 出来ることから実行に移そう (思っているだけ..が多い)

危機管理意識 (リスクマネジメント) → まずは 4 S、点検・整備を !